

【別紙】

審査基準表
DXけん引人材育成事業 業務委託

選定委員による採点

審査項目	審査基準	合計配点
1 全体的事項		
業務委託仕様書を踏まえた企画提案書となっているか。	・本事業の趣旨を理解し、事業目的に沿った提案となっているか。	10
2 DXについての理解等		
提案する事業者がDXについての十分な理解、知見、支援実績を持っているか。	・提案事業者は、DXの重要性、メリットを十分に理解し、DXに対する深い知識があるか。 ・提案事業者は、DXに関する人材育成の支援実績があるか。	10
3 委託業務内容		
(1) 実践型研修プログラム【 戦略策定コース 】について		
① 参加企業の募集	・集客、周知等について創意工夫が図られているか。	20
② 戦略策定コースの具体的な内容、運営等について	・策定する事業戦略や業務改善計画の内容、項目等を具体的に示すこと。本コースを通して育成する人材像を記載すること。 ・参加者の途中離脱が出ないよう運営体制が整備されているか。 ・参加企業のDX推進状況等に係る事前診断の内容、実施方法等が具体的か。 ・講師について、DXの深い理解があり、企業の「攻め・守り」のDXを熟知している者を選定しているか。	
(2) 実践型研修プログラム【 実践コース 】について		
実践コース具体的な内容、運営等について	・研修先企業について1社あたり2回以上の研修とし、研修を受ける社員等が、デジタルツール導入による業務改善等を通して「小さな成功体験」を体感できるような研修内容、期間設定となっているか。 ・講師については、デジタルツールやデータの利活用に関する知識・経験が豊富で、企業研修の実績を持つ者が選定されているか。 ・支援先企業のデジタルツール比較・検討の支援及び導入実証の実施に当たり、想定されるデジタルツール比較・検討の手法、データの利活用の内容が具体的か。 ・フォローアップの方法等が具体的か。アンケート調査項目の内容が具体的か。	25
(3) 生成AI利活用講座について		
① 参加企業の募集	・集客、周知等について創意工夫が図られているか。	15
② 生成AI利活用講座の内容、運営等について	・全4回の講座において、生成AIに関する基礎知識や最新トレンド、業務ですぐに役立ち実用性があるなど、参加者にとって有益な内容となっているか。登壇する講師の選定は的確か。 ・「(1) 実践型研修プログラム【 戦略策定コース 】」に誘導できるよう創意工夫がされているか。	
4 体制、スケジュール		
委託業務の実施体制は十分か。	・委託業務を遂行するための体制が確立されているか。	15
全体を通して、計画的なスケジュールとなっているか。	・求めている成果を実現するためのスケジュールが示されているか。	
5 積算		
経費は、経済的な積算となっているか。	・※以下の方法で計算し、採点する。 (※＝5×最も低い見積額÷審査対象者の見積額×補正係数)	5
1から5の合計		
		100